たべ・こーじ
Presented by Tabe Koji
仮面の淫夢
ANGEL COMICS
ACTION PIZAZZ BRAND
成年コミック

はあぁっ
はぁっ
君は女の悦びを知らなすぎるようだね
パンッ
んくぅ、
はぁ、
パンッ
ダメぇっ
私じゃない
──
これは私なんかじゃ
──ない──
私は
ただの
普通のOL

本当のキミを見せてくれっ
ハッ
はあっ
くはあっ
男性もセックスも興味がない
はあっ
ただのOLなのっ――

はああぁっ
本当の自分
ああっ
これは
別の
自分

仮面の淫夢
第1話

いつもの朝
――
仕事が始まり
昼休み―仕事
――そして退社
仕事は写真等の
レタッチ作業
写真の補正や
修正を
淡々と進める
カタ
カタ
カチッ
カチ
カチ
私はこのカタに
ハマった一日が
嫌いではない
――
むしろ
落ちつく

まだ終わんないの？
つかさぁ〜？
7時から合コン
でしょぉ〜っ
この赤字
マジ最悪なんだけどっ
チョ〜ムカツク
また
地味メガネに
頼めっつうのっ
ひそ
ひそ
そっかっ
相原さぁ〜ん
私今日定時だからぁ
下版引きついで
くんなぁ〜い？
わかりました
また
押しつけてるしぃ
〜〜っ
なにそれぇ〜っ
私がイジメてる
みたいじゃ〜んっ
マジ 地味メガネ
残業好きだよねぇ
〜っ
いつもの事
周りの声は常に
遮断している
残業は静かで
いい
マンションでも
買うってやつ？
寒〜っ

そして
いつもの朝

のはずだった
——

途中下車
——
なぜか
今日会社へ
行く気が
しない
——

地味な反抗
——
たまに起こる
衝動——
でも会社には
連絡した——
体調不良って
——

平日の朝の繁華街――
雑音がなくてここちいい――
繁華街は私には無縁の場所
この時までは――
あっ！お姉さんっ
ちょっと待ってっ！ちょっとだけっ！

一瞬
いいかなっ！
話だけでも
聞いてっ
お願いっ!!

ちょっ！
お姉さん
怪しい者じゃ
ないからっ！
本当っ！
スタ
スタ

ピタ…

怪しいので
警察に通報
させていただきますっ
キッ

オレ一人で
アパレル屋やっててね
正直ビンボーっ

今日モデルが
とんじゃって
まいったよっ

あの…
まだあなたの事は
信用しませんから
急で
ごめんね

でも
オレのウデは
けっこう評判
いいんだぜっ
君のような
素敵な素材は
久々だよ

自分では
気がついてない
ようだけど
―

君は
―

美しい
―

ドキッ

かっ　から
かわないで
くださいっ!!
ガタッ
ウソじゃないよ
何百人もモデル
見てきたんだぜっ!
かちゃ…
まかせて
くれないか?
オレに
――
なぜこの男に
ついていったのか
自分もわからない
――
冒険心
――
人にかまって
もらいたかった
――いいえ
私にはそんな心は
ない――
さあ
目を
あけて……

はずだった——
ドクン
ドクン
これが——
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
私——?

わかっただろう？君は美しいんだよ
ドクッ
ドクッ
いや…
ドクッ
ちゅぷ…
！
ぱしっ
ややめてくださいっ!!
か帰らせていただきますっ!!
ガタッ
ガシッ

ぶる
君のような逸材を逃がしてたまるかっ！
はっ…
や やめて…くださいっ!!
ぶる
こんなに抑えきれない気持ちは初めてだ……
ぶる…
やめて
ぐにゅっ
ピクン
いやぁっ！
ピクン
ひくっ
ひくっ
ちゅぷぷっ
はっ
やめてぇっ いやあっ
びくん

にゅっ
逃げたい
逃げたいのに
ぷるんっ
ビクン
いやっ
ぴく
ぴくん
身体中が
ヤケドするくらいっ
──熱い
くにっ
はふ
ちゅぷっ
びくっ
はぉ
くはあっ
ちゅぶ!!
あふ
じゅる
身体中の
力が抜けてゆく

ビクッ
も もう やめて……
ビクンッ
チャプ
イヤがる キミも 美しいよ……
グニィ
ファー
ビクンッ
はあっ
だが それは 本当のキミじゃない
はうっ
身体は 正直な ようだね フフ
ち ちがう 私は…… こんな――
する…
いや いやっ こんな……
にちゃ
むに
はあっ
ビクッ
はひっ
ちゅぷっ

ダメぇ
ダメっ いやぁ
はああんっ
はっ
はぁ
はぁ
はっ
恥ずかしがる事は
ない 今の君なら
素直になれる
はずさ
お願い
だから
この身体を
早く
直して
熱いの
身体が
おさまら
ないの

ぐちゃ
パンッ
パンッ
はあっ
今の私は
私であって
私じゃないっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
はっ
んくっ
はぁ
私はこんな事を
望まない……
ブチュッ
ブチュッ
男も
それを
望むはずが
ない

はあっ
でも今の私は男に求められ
感じている――たとえダマされてるとしても――
ヌプッ
ヌプッ
パンッ
ハッ
パンッ
パンッ
はあああはふっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐちゅ
ぴちゃ

これが本当の
私？
ちがう

鏡の私は
別の私――
私じゃない

私はただのＯＬ――

第1話◎END

んくっ
はあぁっ
くふっ
もう
ガマンしなくても
いいんだよっ
あふうっ

はぁあ
にゅっ
くにっ
身体が熱いのっ
お願い私の身体を――鎮めてぇっ
ズプッ
すぷぷっ
くちゅ
オレのメイクで君を引き出したい
本当の君を知りたい
じゅっ
ぴる

もっと本当の君を
見せてくれっ!!
あくうっ
あはあっ
本当の私って…

仮面の淫夢 第2話

いつもの職場——
カチッ
カチッ
カタッ
いつもの一日がはじまる
あの日以来周りの雑音が入って来てしまった
先日の事は忘れたつもりだった——

来たよっ！
営業の桐谷さんっ！
ウソっ！どこどこっ
はぁ〜やっぱイケメンだわっ♡
きゃ〜っ こっち来た来たっ！
あの 相原さん？赤字の問い合わせなんですが
はいっ
くそっ地味メガネかよっ
カタ カタ
先方に問い合わせたんですが
肌はOKでここをシャープに
ドキッ
スッ…

どうして?
ドクン
男なんか
全く意識した事
なかったのに——
ドクン
ドクン
すごく
ドキドキ
して——
あの日の事が
よみがえって
ドクン
ドクン
別の私が
さわぎはじめて
——
ドクン
ドクン
いけない
——
いけないいわっ

でも
我慢出来なくて
はっ
はふっ
くにゅっ
はあっ
どうしてこんな身体になってしまったの
ぴく
ぴくん
くちゅっ
私の日常が壊れる
くね
ちゅぷっ
はあ
ぴく

あの人が――
そう――
はっ
はっ
はあ
全部
あの男のせいっ
ビクッ
ぴくんっ
はっ
ぴゅっ
ぴゅるる
くちゅ
ぴちゃっ
ぴちゃっ
カラン…
うれしいよっ

もう来てもらえないんじゃないかって思ってたよっ！
私のいつもの日常を返して下さいっ！
単刀直入に言わせていただきますっ
ぐっ
あ あなたは
こうして女性をダマして人の日常を壊して仕事に集中できないし
と とにかくひどいと思いますっ！

また
メイクさせて
ほしい——
いいかなっ——

認めたくなかった——

別の私になる事への悦び——

ドクン
ドクン
—この感覚
ドクン
なにかが解放されてゆく——そして
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
抑えきれないほど
身体が熱く燃えあがるの

あなたがいけないの…
はっ…
ぴちゅ。
ちゃぷ
あなたが私にこんな事しなければ………
くにゅっ
――だから
にゅっ
この身体の熱さをなんとかして――
ちゅぶ
ビク
ビク
はぁあ
ぴちゅっ
はひっ

くぷ…
はっ
ぴくん
イヤッ あっ
やっと素直に言ってくれたねっ
じゅるるっ
ぴちゃ
じゅぷ
軽い気持ちで声をかけたんじゃない
モデルとしても女性としても魅力を感じたんだっ
じゅぷ
ぴちゃ

そのせいで
別の私が騒ぎ出した
――
こわいの
――
ぐむっ
くちゅっ
別の私が
こわくてたまら
ないのっ
――
んぐっ
はふ
にゅぷ
君は
ガマン
しすぎたんだよ

くちゅ
くんっ
こわがる
事はない
あっ
はっ
今の自分に
正直に
じゅぷっ
びくんっ
君は
僕が想像している
よりもっと素敵な
女性だっ
はあっ
じゅぷっ
ぢゅっ
じゅぷっ
はあ
もっと
自信を持たなきゃ
もったいないだろっ
ぴちゃ
はあっ
ぐぷっ
じゅぷっ

もっと君を知りたいっ見たい
あっ
ダメ…そんなとこ
周りにもその美しさを見せびらかせたい
君はそれだけ魅力があるっ
はっ
はあっ
ああっ
ハッ

私は普通の
生活でいたいのっ
でも
はっ
もう
身体が
――
身体が
言う事
きかないいっ
――
はあぁぁっ
はあ
びゅるっ

第2話◎END

ちょっと聞いてくれっ
4班のみんなに営業の桐谷くんから飲み会の誘いがあってなっ
ウソっ!
キャッ♡桐谷さんから!?
前に下版した写真集が先方に好評だったそうでそのお礼だそうだっ
相原っ おまえメインだったし たまには飲み会に来いっ!
あ…
その日の翌日朝早いのでちょっと…
おいおい営業もおまえの技術に感謝してるんだぞっ!
そうだよ相原さぁ〜んっ桐谷さんの顔たててあげなきゃっ!
せっかく席つくってくれたのに〜〜〜普通断れないよぉ〜〜〜っ
桐谷さんと飲めるなんて逃がす訳にはいかなぁ〜いっ

おまえら逆ナンすんじゃねえぞハハハッ
え〜〜〜っ
しませんく〜〜っ
するけど♡
いつもなら絶対参加しないのに——
別の私が…
なにかざわめきはじめてる——
仮面の淫夢 第3話

市の谷

本当みなさんのおかげですっ

ささやかですが楽しんで下さいっ

それでは――

カンパ〜イっ

カンパ〜イっ！

おつかれでーすっ

おつかれさまでしたぁ〜〜っ

相原さんっありがとうございましたっ

ドキ…

特に相原さんの色調整が素晴らしくて先方も大喜びなんですっ！

いえ…仕事ですから……

だろっ!?
なんたって相原はウチのエースだからよっ!

まあ飲め飲めっ!
佐伯マジウゼ〜〜〜っ
らスっ。
バブル世代マジウケんだけどっ

つかさあ〜〜桐谷さんが地味メガネと話すなんて許せないんだけど
ヒソ
ヒソ
桐谷さん意外にあ〜〜いうタイプ好きだったりしてっ!
ちょっやめてよお〜〜〜っ

私は桐谷さんを意識している……
これは恋愛感情?それとも——

別の私
だったら…

ねぇ～桐谷さぁ～ん♡
二人で抜け出しません？
い いや それはちょっと……
だってぇ 私 桐谷さんと二人っきりになりたいの…
ウチの課が用意した席なんで 今は無理ですってっ
やだやだぁ 二人になりたい～っ♡ 桐谷さぁ～ん♡
じ じゃあ 終わったら二人で飲みましょっ ねっ！
本当にっ!? 絶対だからねっ♡
きゃっ♡

ゆきえちゃんっ！
…

こっち
こっちっ!!
よっ！
あ あなた？
ど どうして――

なんで
こんなところに
……
おいおい
オレが一人で
飲んでちゃ
悪いかい？

実はさっ
ゆきえちゃんが
心配でねぇ～っ
明日
温泉だろ？
……
あの――

大丈夫だよ
キミの生活まで
ふみ込む気は
ないからっ

でもショック
だなぁ～ ゆきえちゃんに
好きな男がいたなんて
ドキッ…

オレっていう
恋人が
いるってのに…
ふー
あなたを恋人
と思った事は
ありませんがっ！
そ そんなぁ〜
ゆきえちゃん…
ガクッ…
でも増々惹かれる
なあ 好きな男を
同僚の女に取られて
嫉妬してる君も
素敵だよ
てっきり
そういう事に
興味ないかと
思ってた
て 適当な事
言わないで
下さいっ!!
わ 私は
そんな事 興味も
ありませんし
営業の方は
ただの——
ただの
仕事上の方でしか
ありませんっ!!
だ だから——

同僚の女に
取られる前に
君が取って
しまえばいい

す…

そ
そんな…事

場所なんて
関係ない
今すぐに――

君の美しさと
オレのメイクなら
放っておく男なんて――

は…

いないさっ――

ドクン

ドクン

ふー、
ガチャッ
キィ・・・
えっ⁉
あの
する・・・

き君
ここは男子
トイレ…
ドクン
ドクン
ドクン
す…
あ あの
ちょっと
――
は…
んっ…
んぐ…
くちゅ
はっ
ちゅぷ

にゅつ
くんっ
ぴくっ
んはぁ
びくっ
うくぅっ
ぷるっ
くいっ
あ…
ちゃぷ
あふっ
はぁ
はぁあ
はふ
ぐっ
んぷっ
はぁあ
あっ
はぁぁ

ぴくんっ
くはおぉ
はっ
わ わからない……
ちゅぶぅ
ちゅる
はふぅ
ムニュ
あぁあんっ
君を一目見て
──なぜか
魅了されてるっ
君は一体
──
こ
こんな…
くちゅっ
ぴくっ
くふ
ぐちゅ
くちゅ
ちゅぷ
あひゃ
びくん
びくん
ぐにっ

私は——ただ
くん
はぁ
今 あなたを愛したいだけ——
ゴク…
あふ…
ちゅぷ
おいしい……
れろ
あなたも私を愛してほしい——
今だけでいいの——
はぁ

だから━━今は
なにも聞か
ないでっ━━
ぢゅぷっ
ぢゅる
くちゅ
にゅぷ
あふっ
じゅる
止まらない━━
別の私が━━
んぷっ
もっと
もっと
欲しいっ
ぢゅぽっ
んっ
んくっ
ぢゅる
私の中に
もっと━━
はっ
ぬぷっ

あふ…
くちゅ
くにっ
ちゅぷ
んおおふ
はぁ
ぷるる
びくびく
ぐぷっ
あなたに
私の身体の熱を
静めて欲しいの――
くにゅん
はうう
それだけ――
それだけで
いいの――
ちゅぷ
くちゅ
ぢゅ
ぴちゅ
んぷ
はひぃっ
ズッ
ズリュ
ズチュッ

パンッ
パンッ
あひっ
はっ
はひ
アァ
ズプッ
ズチャ
彼の熱さが身体中に——
気持ちいい
こんなに——
んっああふ
ぶるん
ジュプッ
ジュプッ
アァン
熱い——
全身がとろけそううっ
ズプッ
ズプッ

ぱぁ
あおん
おぐぅ
くはっ
感じる
奥があぁっ
と とけちゃうううっ
はおおっ
はっ うくっ
イキそう
だっ
はぁ
出してぇ
私の中に
出してぇぇっ!!
はっ
はっ
んあふ

いっぱい
いっぱい
出してぇえっ！
あおん
あ"ぐっ
えっ？ダメになったって……
ゴ ゴメンね
月刊誌引っかかった
みたいで…
そんなぁ～
営業課長に
よろしくなっ！
了解ですっ
今日はありがとう
ございましたっ！

私は――
別の私に悦びを
感じ始めて
きている
――

第3話◎END

週末の温泉旅行
見せてごらんっ
はぁ…
ぷるっ
すっ…
もん
私はいつになく気持ちが高ぶっていた

もう濡らしちゃってるのかい？

そ そんな事……

は…

身体がいつも以上にもとめてる……

仮面の淫夢 第4話

ぴくっ
ダメっ――
はっ
くちゅ
あふ
ゆきえちゃんとの
旅行 待ち遠し
かったよっ
ぴくんっ
あア
くにゅ
くり
くにゅ
ぴくん
ぴくく
ぴくん
ダメ…
それは…
今日はメイク
しなくても
よかったのに…
はあっっ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

メイク無し
でも良かった
――
にちゃあ
でも
まだ
まだなの…
むん
ぷる
かくしちゃ
ダメだよっ ゆきえちゃんの
いやらしいアソコ
見せてっ!
だって…
恥ずかしい…
ぷる
はぁ
あふ
大丈夫だってっ!
ほら見せてっ!
ほらっ!
くっ…
はぁぁ

よおく見えるよ ゆきえちゃんのいやらしい マ○コっ
くぱぁ
ぷる
ぴく～
ううく・・
はふ・・
にちゃあ
ひく
ひく

くちゃあ
は・・・
くぷ
恥ずかしいはずなのに
はふ
この快感は
くにゅ
あふ
ぴく
ピクン
ず…
見られて興奮してる
ぢゅぢゅ
ぢゅ
ぢゅぷぷっ
ぴく
はあっ
はひっ
ぴちゅ
ああん
グチュ
はっ
ぢゅぷぷっ
グチュ

イクゥッ イっちゃうゥ
はああんっ
はあァ あっ
ダメ イっちゃう ダメえ
くはァあ
ぴくっ
ビクビクン
はあァァ
ぴくん
ぴゅく
ぴゅる
ぢゅぷ
ちゅぢゅぢゅ
ひくん
ぴちゃ
ちゅぷぷ

外ってのも
刺激的だろ？
なにか
解放された気分
にならないかい？

くっ
ぴくっ
ごく…
は…
あふ
くんっ
ガマンしなくていいんだよ
はあ…
さあ おいでっ
欲しかったんだろ……
ゆきえちゃんの好きなようにしてごらん
ぷる
な なめたい……
はぁぁ
は…
なめたいの…
お おち○ちん……

んく
んっ
んんふ
ずっと
欲しかったんだね
おいしいかい？
はぁ
おいしい
おち○ちん
……
欲しかったの
……──
はふ
はぅ

気持ちいいよ――
ジュル
うくっ
あふっ
はっ
はぁ
ぢゅっ
じゅぷ
ちゅぷ
れろ
れろ
ぐぷ
ぐぷ
さあ 今度はオレの番だ……
はっ
あん…
じゅっ
うく…
ちゅ
ぷる
ぐぽ
ごぷ

はぁァ
ちゅる
ちゅぷ
あふ
はひっ
びくん
ぴちゃ
ぴく
じぃぃん
ぐっ
はあ
ぴちゃ
ちゅぷ
ぢゅ
ダ ダメぇ そんなとこ── 汗で──
はぁァ
あぁん
ちゅる
こういう変態っぽいの好きだろ? フフ──
くい
くい

汗と汁で
べちょべちょ
だよ
ほ ほし
……
欲しいの
――
はやく――
あひぃ
はぁァん

ミーンミン
ミーン
はっ
はっ
あっ
ぱちゅ
ミーン
車の中で一人でイったのにもう欲しくなったのかい？
はう
欲しかったの…
はァ
あふ
ぐっ
だからもっとー
もっと

はあん
ゆきえちゃんの
わがままでいやらしい
姿――
もっと
見たいんだっ！
いやあ
ダメえっ
はっ
はん
いやらしい
音だね　ゆきえちゃん
――
ああん
はあ

いやらしい音じゃ
誰か来ちゃうよっ
はぁ
いやぁ
ほうら
もっとだよっ！
ダメぇ〜
はっ
はぁ
あっ
あはっ
はぁ

誰かに
見られても
いいじゃないか
さっきは
人に見られて
イっちゃったのにかい？
フフ
いやああ
かざってない
君は本当に
素敵だよ
ゆきえちゃん

はあ
くちゅ
ちゅぷ
今日は本能のままの君をいっぱい見せてくれっ
ダメえイっちゃうイっちゃう
あァ
はっ
はっ
はっ
オレもイキそうだっゆきえちゃん
パンッ
パンッ
ぱちゅっ
イクよっゆきえちゃん
はっ
あァ
はあ
はっ
はあ

イクーイクッ♥
あふっんァァ
あァ
あぁっ♥
びくん
ぴゅる
はぁぁん
ぴゅる
ビクン

第4話◎END

ゴク…
若い娘はエエのおくっ
はぁん
ぴくん
は……恥ずかしい あふ♡
なんとうまそうなマ○コじゃあくっ
はふ
くぷっ
ぢゅびびび
はふっ
くぱぁ♡
ぢゅる
たっぷり味わってやるわいっ フフフ
はひっ♡
くり
ぎゅるっ

シュコ
シュコ
んんぐっ
んんっ
じゅっ
じゅぷ
こんな極上の女と遊べるとは思わんかったわいっ！
ぷ
んぷっ
彼氏さん 君もなかなかの変態じゃなっ！ フフフ
ぢゅぷっ
ぢゅっ
たっぷり可愛がって下さい
んっ
ぢゅっ
んっ
彼女の為なんですから―
ズプッ

はふ
フフ
お言葉に甘えさせて
もらおうかねっ
パンッ
パンッ
ぴくっ
はあぁっ♡
パンッ
とことんまで
堕ちていく
──
はあっ♡
今の私を
もっと
壊して
──
パンッ
パーンッ

仮面の淫夢
第5話

は…

カチ…
ぴく
あっ…
ウイッグ…
外すよ
いいや
……

まだ…
恐いのかい？
だめ…

どうして
あなたと出会って
しまったの
私はあのままで
よかった

――こうなった以上
前を見ていくしかないって――わかってるのに
――ごめんなさい
でもどうしていいのかわからないの――
もっと大胆な事してみようか――
え…
君が君を壊すんだ――

コンパニオンでも呼ぼうかねっ
ぬふっ
パアくっといこうやっ
なんとぉっ!!
彼女の為ですから
ちょうどいい皆さんよろしかったら
ぼくの彼女のお相手をして下さい遠慮はいりません

仕方あるまいねえ
君の為というなら
フフフ
ぷくっ
はっ♡
はぁ
あふぅ〜っ
若い娘の肌じゃ〜〜っ♡
たまらんのぉ〜♡
ゴク…
ちゅぷ…
はあっ
ガマン
できん〜っ

どれ
ご開帳といきます
かなあ〜
はぁぁっ
はぁっ
あふ♡
は 恥ずかしい
……
だめ…
くちゅ
はあぁ♡
むむ？
奥からあふれる
汁はなにかなぁ？
いやぁア♡
ああっ
ぴちゃっ
じゅる
は〜♡
うまいっ
この娘のマ○コは
また格別っ
ぺちゃっ

なんとしまるマ○コじゃっ♡
あふ♡
ほうれしっかりくわえんかっ
んぷぅ♡
オマ○コよお〜く吸いつきよるわいっ！
こうして犯されてるゆきえちゃんもまた美しいっ

今の私を壊して下さい――
はぁあ♡
もっとー
もっと――
ちゅるっ
ぢゅぷ
ぶはあっ♡
ぬぽあっ

君もけしからんねえ
こんなカワイイ娘を
調教しよってっ！
はは
遠慮せず
楽しんで下さい
くちゅ
ちゅぷ
ちょうど
ケツマ○コを
試したいと思った
ところよおっー
んぷ♡
くぱぁ
ぐぐ
ぷぷ
ワシにも
そのマ○コに
入れさせてくれえっ
にゅる
ずぶ
あくっ
ダメェえ♡
ぬおぉんっ
し　しまるううぅっ
ぐぷっ
じゅっ

なんと素晴らしい光景じゃあぁ〜〜っ♡
私のマ○コに欲しいのぉ♡
早くぅっ♡
はあん♡
ぐぷぅっ
フフそんなに欲しいかねぇ?
ぬんっ
はすはいってるうっ♡

ぬおォくっ
この吸いつきいっ♡
すンごいィ
いっぱい…♡
ハァあ
はあ
あア
にゅる
スゴく
かたい…♡
このおっぱいも
吸いつくような
肌じゃぞっ！

はっ
はっ
はっ
どうだい？愛されてる気分
パンッ
パンッ
壊れていいんだよっ
はあっ
ハッ
ズッ
壊れる――
イクーッ
でてるぅ♥
ぬうっ
見知らぬ男達に犯され――

どうれ
こちらも
中にブチまけ
たるぞぉ〜っ
ズブゥッ
スゴイッ
おおぉ♥
はぁ
気持ち
イイィああ♥
あっ
ずぷっ
ずぶっ
ぬぶぅぅ
ずぶっ
ぐぶっ
でるっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
出してぇぇ
いっぱい
出してぇ♥
ズブッ
イク
イクッ
出すぞおぉ

くはァ
あァ
びゅる
堕ちた
そして壊した
これでよかった

そう感じた――

す…
私のすべてを
抱いて下さい
——
第5話◎END

仮面の淫夢　最終話
私を――
抱いて下さい――

ゆきえちゃん……
す…
する…
昔 私はモデルをしていました
あなたは あの頃の私を思い出させた

ぐっ
このまま
隠れた様に生きて
いてもよかった
いつしか
居心地のいいものに
なっていた——
過去の事を
わすれかけて
いました
ぐっ
そんな時
あの日
あなたに出会った
——
はあァァ
ちゅぷっ

モデルをしてた頃
私にはミキエという
親友がいました

私は
ミキエに異常に
憧れてた

服やメイク
好きな食べ物
など 真似を
するくらい——

私への
悪意ある
ウワサをたて
嫌がらせを
する様になった

理解できなかった
——私はただ
ミキエに憧れて
ミキエになりた
かっただけなのに…

その後
ミキエは
薬におぼれ
―

自ら
命を
絶ち
ました

ようやく私は
気がつきました
自分がミキエに
していた事を

私がミキエを
追い込んで
いた事を
―

ただの逃げ道
かもしれません
ちゅぷっ
ぴちゅっ
あふっ
ぐっ
でも地味で
平凡な生活が
ささえにもなって
いました
ぷえ
はひっ
ぢゅぷ
くりっ
あなたと
初めて出会った日
あァンッ
れろっ
はくっ
ぴちゃ

んっ
あなたが私に
メイクした鏡の前に
はあっ
あの時の私と
ミキエが
いました――
あアん
恐かった
あなたに全て
見透かされている
と――

ダメえええ
ああア
はッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ビクッ
ぴちゅうう
あなたがミキエとなって私に罰を与えてると——
ぴゅるるっ
ああアん
ぴちゃ
ビクンッ
ぴくっ
はあアア
でも私はあなたに会わずにはいられなかった
はあァ
はひ…
罰を受けたい——という気持ちと——
ぴちゃっ
ほ 欲しい……
ぽた…
はあァ

ぴく
あふ
お願い
欲しいの…
欲しいのぉ♡
ぴちゅ
んくっ
ぢゅるる
本当の
自分を見せてくれる
んじゃないか——
はひっ
変えてくれる
んじゃないかと
——
んまあっ
あなたに
すがったのです
——
はっ
あっ
はァ
はあァ
ふはああァ
ぐぷっ

はあっ
あなたに従う事で何かが変わる――
もっとっ
あっっ
ふあっあっ
んはっ
何かが見えてくる様に感じました
もっとおおお
あなたのおかげで
前へ踏み出す勇気を持てた――
ちゅぷ
ちゃぷっ

今の私を
裸の私を――
はあ
はァァ
抱いて
下さいいいいい
ふあああ
くふあぁ
ダメぇぇぇ

はあ
気持ちいいイイン
はひっ
気持ちいいのおオオン
ぐちゅ
ぐちゅ
あっ
ぎゅっ
んくっ
はあァ
ちゅぷっ
ぢゅるっ

ゆきえちゃん――
ハァッ
パチュ
パチュ
ハアァッ
パンッ
あひっ
あっ
ぷるん
パンッ
パンッ
オレは
君が思う様な
人間じゃない
ただ――
はっ
声をかけずには
いられなかった
だけさ――
あっあっ

君がオレと出会って救われたなら――
それでいい――
今の君は今までで一番――
綺麗だよ――

ズチュッ
ズチュッ
ズプッ
ぷるるっ
ふぁあァ
んあァ
ぷるん
ゆきえちゃんを感じる
ハッ
ビクッ
はっ
ズチャッ
はぁ・
ズチャッ
ズプッ
パチュッ
パチュッ
ズプッ
あくうっ
今までで一番感じるよ
はぁァ

奥にあたるぅ
あたるぅぅ♡
ちょうだいっ
私の中にー
あなたを
ーーー
はあっ
はあ♡

今まで——
ありがとう——
ドクッ
びゅる
びゅるびゅる

チチ…

今まで
周りを偽り
自分を偽って
きました――
急げぇ〜っ！
次の現場行くぞっ！
ハイッ！
捨てようと
しても
過去は
消せません――
今 私は
小さなスタジオで
カメラアシスタントを
しています

過去の私にも向き合いながら

正直に前に進みたい――

本当の自分に――

『仮面の淫夢』完

まなちゃん
4番テーブル
お願いっ
私は
〝瑞江（みずえ）まな〟
ハーイ♡
ガールズバーで
働く
アイドル候補生
ぷりん♡

実姉でブレイク中のグラドル〝瑞江あみ〟
私の最大最強のライバル!!
びっちパイ
第1話

ボンバーチョコ娘〝まな〟でぇすっ!!
びっ
うふ♡
ぷりん♡
はー
ないわー
君はアイドルってものわかってる?
そもそも君ビッチじゃね?アイドルは処女じゃなくね?
はー
ブッ
ブッ
ぷる
おおっぱいはいいねうん
ぐふ
つか〝瑞江あみ〟には勝てないっしょっ
ムリムリ
ぐふ
ぐふっ
うぇぇ♡
ボクが応援したから?大人気でしょ?昔のあみはねぇ〜
ブッブッ
ぐふ
ぷる
ぷる
きもブタぁ〜〜〜っ

きもブタちゃあ〜くん♡

チョ〜カワイイんですけど♡

ぞく

ぞく

私にとってきもブタちゃんほど大好物な男子はないっ

アイドルになってきもブタちゃんとヤリまくるのが私の本当の夢♡

はぁ〜

ハァ

汗♡ニオイ〜♡

しかし皆〃瑞江あみ〃に夢中……

ワナワナ

クソ姉貴! また私のきもブタちゃんを〜〜〜っ!!

カチャ
お客様
お店からの
サービスです♡
えっ？
つかさあ～ あのきもブタ
みんなマジムカツいてて～
マジ迷惑！
ボソ
ボソ
いいとこのボンボン
らしくて 店も
強く言えないいんだって
キッ～イ
お酒飲ませて
眠らせ
ちゃえってっ
そ それ
ヤバくない？
大丈夫だって
今日は店長
公認だしっ!!
ガク…
寝ちゃったら
きもブタちゃんと
話せないじゃ～ん…
はあ…
ハッ!!
これを利用
しない手は
ないっ！
グフフ♥
ムラ
ムラ

ん…？
ここは……
ひきっ
なっ!?
きゃ
やっと起きたぁ〜っ♥
おお前はビッチ女ぁっ!?
なーっ!!
ラブホでぇ〜す♡
じゅる
おいしそう〜♥

は はなせっ
はなさんかぁ〜っ
んん♥
ちゅぱっ
ぢゅぷっ
はむっ♥
あ〜ん
おいしい♡
はむ
はっ
はむっ♥
ふむっ♥
もお〜 チ○ポ
ガチガチじゃなぁい♡
くちゅ…
すり
すり
はあん♥
いやらしい
ニオイ…
くんくん
きゃん♡

くにゅ
はぁ
ぴくん
や～くん
皮かぶってる♥
は♡
すごい
ニオイ…
たまんない♥
ゴク…
むき…
はむ♥
もうダメぇっ
ガマン出来なぁい♡
おチ○ポ
おいしい♥
はぁん
くちゃっ
はあぁん♡
きゅん
くにっ
はふ

ふ〜くっ
あっつ〜いっ
ぷるん
ぬほっ
おっぱい
好きなんでしょ?
うふ♥
あっ
くに
くちゅ
ビビッチの
巨乳なんて
認めんぞおっ!!
ふふっ
きゅにゅ
無理しちゃって
もお〜っ♡
ぬわっ

ぎゅうっ
はっ
レロちゅ
おチ○ポ
こんなにカタくしてえっ
身体は正直なんだから♡
ああ
じゅっ
ぢゅぷっ
はぁ
あう
エッチな声
出してぇ♥
気持ちいいんだっ
あは
ぢゅっ
びくんっ
じゅぷっ
はぅ
はぁ
んくぅ
ガマン汁で
ベチョベチョ…
ピチャ…
ちゅぱっ
もったい
なくい♡
ぢゅぷっ
ぢゅっ

ぴちゃ
はむっ
感じまくってる
きもブタちゃん
チョーカワイイ♡
燃えて
きちゃう〜♡
はぁ
もっと
感じて
いやらしい声
聞かせてぇ♡
はむ
ハァアァ
あぁっ
イクッ

きゃん♥
ぎゅうっ
もぉ〜〜っ
おっぱい クサザーメンで
ベチョベチョだよぉ♡
はぁ♥
にちゃ

オマ○コも
ビチャビチャなんだから
する…
ハッ
ほらっ♥
ビちゃあ
むん
ビチョビチョ
でしょ?
くちゅ
ハッ
くちゅ

くにゅっ
ぷくん
くちゅ
ぬふ♡
はあああ♥
ぷるるん
きもブタちゃんのチ○ポおっきいい♥
ぐちゅうっ
どちゅっ
ハアぁ
パンパン
あふっ
はぁっ
チ○ポ気持ちイイ♡
ぐちゅ
気持ちいい…♡
ぷる

チ○ポ
折れるぅっ
ハァ
きもブタちゃんの
チ○ポよすぎて
腰止まんなぁ〜い♥
はっ
ぐぷっ
ぐちゅっ
ぬぽァ
ハァ
うるさぁいっ!
ボクはきもブタじゃ
ないのだぁ〜〜っ!!
ビッチ女ぁ
こうして
やるぅ〜っ!!
パンッ
パンッ
パンッ

んん♥
ビッチぃ♡
ビッチマ○コ
イイ♥
もっと言ってぇっ♥
はぁ♥
メッチャ興奮しちゃう♥
ビッチマ○コぉぉっ
ビッチマ○コビッチマ○コぉっ!!

きもブタ
チ○ポぉお♥
たまんなあいっ♥♥
ビッチマ○コに
射精してやるううっ!!
ポシュ♥
パンッ
パンッ
パンッ
射精してえ
私のビッチマ○コに
クサザーメン
射精してええ♥
あぁん
イクぅ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
イクぅ
イクぅうっ♥
ビッチッ
ビッチィィッ

ああァ♥
んくうっ～♥
ふあぁっ♥
クンッッ
あついぃ♥
びゅくっ
びゅる
ぎゅぷっ
どビュルッ

うう・・・
ボ ボクの
童貞は〝瑞江あみ〟に
ささげるはずだった
のに
な なんてラッキー
なのっ！ 大好きな
きもブタちゃん
しかも童貞だった
なんてえ～♥
プルル
だら～
姉貴～～
あんたのファン
いただきましたあ～♥
はひっ
くりん
フフ
今日は
帰さないつうの♥
じゅるっ
!!
若っ!!
えっ・・・？

ネーちゃんっ うちの若に 何って事を
ブルル
ただじゃ 済まんぞっ
ゴラァまっ!!
ちょっー これって
ヤバく ない?
第1話◎END

Mana
Age: 18
T160 B92 W60 H89

通称
〝ヤリ部屋〟
階――

カッ
カッ

今日はここで
パ・パ・と
会う日
――

びっちパイ
第2話

待ってたよ――

むぁみたんっ♥
会いたかったのだぁ〜んっ♡
はしっ
遅くなっちゃったぁ♡
ぎゅっ
ぷるる
もぉ〜パパ心配したんだぞ♡
すぐにパパに会いたくてぇー
キャ
衣装のまま来ちゃったんだ♡
キャ
ぬほぉ〜ん♥今日の生放送のママじゃ〜っ♥
ウス

少し
汗くさいかも…
じと…
ズッ
ありがとうっ！
ありがとうっ!!
あぁん
だめぇ♡
くに
ぴくん
あみたんの生汗♡
最高のご褒美じゃあ
けしからん♡
くん
パパ
ちょっと待って♡
くん
はあん
ぴちゅっ

先に…お手洗いに……ずっとガマンしてたの……
やれやれー
ふー
おしっこくらい済ませなさいっ
さあパパがトイレになってあげようっ!
ガマンは身体によくないぞっ!
くっ…
で でも
ぷる…
ムリぃ〜っ
すっ…
パパを便器だと思いなさいっ!!
は 恥ずかしいよお♡
ゴク♡

出ちゃう…はっ…
プル
ちょろ…
ハァあ
おしっこ―― 出ちゃう
ダメぇえぇっ
じょぼぼ
ふあぁん♡
プル
プル
しゃああ
ぷぁあぁ♡
ぴちゃ
ぴちゃっ

パパは私の前
では変態
だけど

あみ…

表では厳しく
男らしい人
なのです

ぴくっ

変態パパも
好きだけど
たまには
表のパパのまま
激しいセックスが
してみたいの♡

このメスブタめっ
奥までくわえ
やがるっ!!

じゅぷ

ぐむっ

へえっ
もっと♥
はひっ
わかってくれないのね
私の気持ち
―
こうなったら
パパに嫌な事を
しちゃえ♡
ブーツでムレた
足の匂いでパパは
怒るに決まってるっ!!
はあ
はあ
じーっ
パパぁ〜っ
ムレムレの足の匂い
なのだ〜っ フフ
むわ…

ぷに
いやぁ〜んっ
逆効果だったあっ
私のバカぁ〜っ
ぴく
はぁぁ
くん♡
ゴク
けしからん♡
あみたんのムレムレ足♥
けしからぁ〜んっ♥
ちゅぷっ
びちゅ
ちゅる
ああ〜ん♡
おいしいっ
あみたんの足の指♡
でも
気持ちいい♡
はぁん
ウソっ!?
パパのチ○ポ
すごい事にっ!!
パパっ!
脱いでっ!!
ぬわぁっ
あみたんっ♡

今日のパパ
どうしちゃったの⁉
ガチガチ♡
ギン
ギン
じゅる
フフ
いつものパパの
チ○ポじゃないかっ！
フフッ
キリッ
よ〜しっ
作戦変更♥
もっと興奮
させて――
ゴクッ♡
パパを
ケモノに
しちゃうっ♡

はァン
くちゅっ
むにゅん
ぬぽぉ♥
いっぱい興奮して
もっと♥
ぴちゅっ
じゅぷっ
んぷぷっ
ケモノになって
あみをいっぱい
イジメて欲しいの♡
パパバカを
言いなさいっ!!
ずぷっ
あみたんをイジメる
なんてパパは
出来ん〜〜〜っ!!
んもぉ
はぁ
パパの
バカっ!!
ぎゅっ

私の気持ち
わかってないいん
だからぁ〜っ
あみたん
そんなにハゲしく
射精る射精るっうっ！
ああん♡

パパやぁくんまだビンビン♡フフ♡
はぁ♡
あみたん今日は激しいのお♥
はひ
パパ――あみのマ○コに入れたいんでしょ♡
私の事を"ビッチ"って言ってくれたら入れてあげる
あみのオマ○コが欲しくないのお？じゃあやめちゃおうかなあ〜♡
あみたんにそんな事言えんん〜っ!!
はひぃ♡
はぁ
ひあああん♡わかったわかったああっ!!

ずっ
ビッチ
くちゅ
もっとおっ
もっとよパパ
ビッチッ
ビッチイィッ!!
ビクッ
ふあぁァ
ズブッ
スゴイいぃ♡
気持ちいいん♡
はぁ♡
ぷるん
はぁ
ズプッ
ズブッ
あみたんの
ビッチー!!
そうっ♡
くちゅ
はぁ
もっとお♡
パン
ブチュ

もっと
言ってくれなきゃ
いやっ♡
ああ
たまらんよ
ビッチあみ
たぁくん♡
興奮
しちゃううっ♡

ぬほ♥
はぁ
ぢゅる
パパ
メスブタあみのマ○コに射精して♡
あ゛あ゛あっ♥
ぷるっ
パチュッ
パチュッ
ずぷっ
ほっ♥
ハッ
メスブタあみのマ○コに射精すぞっ
射精すぞぉっ
ぐはぁ
ああっ
パパぁっ
射精してぇ
だしてぇぇ♡

いぐ　ぐぅ　あぉう
んんぉ
びくん
びくん
どぴゅ
あぉまん
ぐぐっ
はあぁ♥
ぷぴる…

今日のパパ
気持ちよかった♥
ぷぴ
ひくひく
朝まで
いっぱいH
しちゃうんだから♡

ねえ
パパぁ～♥

起きてっ
Hしようよぉ～っ
パパぁ～っ
あみたんの
ビッチ
マ○コぉ～♡
スピー
ぐぴー
むにゃ

ふんっ
いっぱい
Hしたかったのにぃ…
もうっ

ブー
ブー
!

ヤクザにラチられた

そんなっ！

マナ……

第2話◎END

Ami
Age: 20
T164 B99 W62 H90

私は「まな」
キモブタちゃんを
逆レイプしてたら
怪しい3人組に
拉致されて
しまいました
なんとキモブタちゃん
あの巨大暴力団の
「比座津組」の
息子だったのだぁ～っ!!
比座津組
絶体
絶命!?
ヤバイっ
マジで
ヤバくな
いっっ!?
ゴク…

びっちパイ 最終話
夢の輪姦やぁ〜くん♡チョ〜ヤバぁい♡
ワナ
ワナ
本当にこの女が若の操をっ!!くぅ〜〜っ!!
こんなクソギャルビッチありえねぇ〜一生の不覚ってやつ?ククク
つかさー今実況で忙しいっつのっ!
ブッ
カタ
カタ
ふで♡

若ぁあっ!!
お察っししますぞおおおっ!!
ドン
今のギャルはギャルをカン違いしてやがる……
ぐぐ…
あの頃のギャル・コギャルは輝いてたぜ…ルーズやパンツの汚れくわえタバコ――
キラ
キラ
このビッチ感が本物のいとおしいギャル・コギャル!萌えギャルだとぉ?笑わせやがるっ!
しかぁ～しっ!!このネーちゃん♡
ウル
ウル
本物のコギャルっ!!ビッチでけしからんコギャルっ!!ただじゃ済まんぞぉ♡♡
ゴラぁぁアア♡

ぴく
はひ
フフ♡
きゃん♡
もうくっ♡
おじさん 素直じゃ
ないんだからぁくっ♡
ビクッ
私の大好きな
クサチ○ポ♡
いただきまぁ〜〜〜
はむ
お おめえは
一体っ!?
!!

瑞江あみ!?
まな…
姉貴!
な なぜに あみたんが ここにいく〜っ!?
つか 姉貴って 言ってたよな
あのクソビッチが あみたんの 妹だとぉ〜っ!?

ぬわあぁあっ！
私の
クサチ○ポぉっ!!
ビグッ
はむ
うぐ〜ん♡
おいち○こぉく〜っ♡
ちょっとっ！
チ○ポ
かえしてえっ!!
クソ姉貴
ブッ殺すっ!!
カプ♡
ぢゅるる
ちゅぽっ
かぷっ♡
ぢゅる
つか
来んじゃねぇ
よっ!!
ぬひっ♡
チ○ポ一人じめを
自慢したいとか
みえみえだしっ！
はぁ♡
ぢゅる
ぢゅる
ライ○
よこしといて
よく言えるわ
ねっ
くに
せっかく
夢の輪姦が
台無しぃっ!!
ぢゅる

あ ありえん…
あみたんが肛尻
アナルなめなど
ありえんのだっ
ブッ
ブッ
あいつはニセモノの
あみたんだ…
そうに決まっとるっ
ぷる
ぷる
ガ
たくくんじゃ
なぁい♡
にゃぷ♡
あれれぇ〜!?
こんなにギンギンに
なってるぅ〜っ♡
ビ
わふ♡
ギ
ギ
ぴくん
さわっ
もうしょうがないなあ♡
今日は特別な事
してあげる♡
若っ!!
はひ♡
ゴク♡
くっ
若がまたビッチ女に
犯されるぞっ!!
てめえら お守りしろおっ!!
オオオオ
ウスッ!!

しっかりおとしまえつけてもらおうかっ!!
へへ
ぐひっ♡
あみたぁん
けしからんビッチ女めぇっ!!
ぴくん
ぴくっ
くにゅ
プルン
もん
もん
やぁ～ん♡おとしまえつけてぇ～っ♡
あ～ん♡もっとイジメてぇ♡
むにん
むにん
ぴくっ
ぴくん
はぁ♡
プリン
プルン
あぁん♡
むにゅん

まったく
けしからん
巨乳ビッチめっ！
いやん♡
ぴく
ぴくん
むにゅ
あはん♡
くにゅ
はぁ
くにゅ
チ○ポ
おいしい～♡
ぐぷっ
ぐぽ
そうらっ
クサチ○ポの宝石箱
じゃあ～っ!!
たっぷり味わえやっ!!
ああん♡
もっと
ちょうだぁい♡
ぢゅ
ぢゅぷっ
クサチ○ポ
さいこースギ♡
ちゅぽ
ぢゅぷっ
じゅり
れるん

この巨乳
いやらしく
吸いつきやがる
たまんねぇえっ
イク イクゥ
きゃんっ
あ゛あん

ぷる
はぁ…
あのあみたんは
ニセモノだ…
だからニセモノと
なんか…
ボクは本物の
あみたんとセックス
するのだっ
はぁ
スコ
スコ
だ だから
ニセモノなんかぁ
ぁ～～～っ!!
やぁぁ～ん
た～くんんっ♡!!
ばっ
一人でやっちゃ♡
ダメぇぇっ!!
ガバッ
あみは
ここだぞっ♡
すごいガチガチ
あみのマ○コに
入れたかった?
はっ
ぬぷっ
ぴく
あ あみたぁ～ん♡
はひっ
はぁ♡
あ あみぃぃ♡
ピクン

はああぁ♡
ハッ
すごい
カタあくぃ
気持ちいいいん♡
ぐちゅ♡
ブチュッ
グプッ
グプッ
あみたん♡♡
はひ♡
ぢゅぽっ
はぁ
グプッ♡
あみたんのマ○コに
ボクのチ○ポが
入ってるうう♡
ああ♡
パチュッ
パチュッ
たーくん
あみのマ○コ
気持ちいい？
!
気持ちイイっ♡
あみたんのマ○コ
イイいいっ♡
!!
ぐちゅっ
グプッ♡
!!♡
ぽむっ
ぐぶっ
!?

はふ
キモブタちゃんの
童貞 私が
いただいちゃいましたぁ♡
いやあぁんっ
ぷるん
ぴくっ
ぴくん
ずちゅ♥
ずちゅ♥
ぱちゅ
ずちゅっ
はひ
ぐちゅ
まなには
贅沢スギぃいっ!!
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐちゅ
ぐむむ
せっかく
私がとっておいた
童貞チ○ポ
なのよぉ〜っ!!
はあ♥
ヴブッ
チョ〜
おいしかったあ〜♡
ずぷっ
はぁん♥
たーくん♡
私のマ○コで
消毒してあげる♡
毒じゃ
ねえっ!!
ぱん
ぱん
ぱん
ずぷっ
はむむ
はあ
ズプッ♥
ぱん
ずちゅ

ぴくん
私の中にも
いっぱい
出してええ♡
はぁぁ♥
ハッ
ビクッ
出る
出るぅ
あみたぁぁん
びくん
イクゥ♡
イッちゃうぅぅ♡
ダメえぇ♥
ドクン
あはぁぁ
ビクッ
くひぁァ
ドプッ
ビクン
ビクン
プルル
あふ
ぷる…
プリプリ
にゅぷん
ブブ
ぷぷ
ふあぁ♡
むちゅ…
ぴちゅ…

若におしっこをかけるとはけしからんっ!!
ガッ
あん♡
しっかりおしおきしてやんぜっ!!
いやん♡
コギャルのマ○コ…たまんねえ♡
くぷぷ…
はぁ♡
ビクン
このビッチコギャルめっもっと腰を振れゴラぁ〜っ♡
はぁぁイイイぃ♡もっとイジメてええ♡
むぐ♡

はぁん
にゅり…
はあっ♡
ギギンッ
ビキン
やぁくん♡ たーくん もう ギンギン♡
男らしい たーくん 素敵♡だから もっとあみを イジめて♡
あみたん♡ わかった♡
はっ
ボクのチ○ポで 突いて欲しいのか⁉ ビッチあみたんっ♡
グチ
グチュ
はふぁあ♡
ずんっ
そう たーくん もっと 言ってぇえ♡
ビッチあみ ビッチマ○コぉ 〜〜っ♡
ぶちゅ
ズブッ
はひ

ぬふぅう♡
あみたん♡マ○コ♡
はひ♡
もっとちょうだぁいっチ○ポもっとぉ♡
もっと突いてぇっもっとおおっ♡
気持ちいい〜っもっとおく〜っ♡
はぁア♡
イクッイっちゃうう♡
ハァあ♡
イクぅ♡

くはぁアぁ♡
はひぁアァ♡
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ドクッ
ビュルッ♥
ビクン
ハァァ♡
ビクン
ビクン
ビクン
キリッ
あみたんのおかげでボクは漢になれたのだぁ♡
だだから ボ ボクとけ 結婚——
!?

か 会長っ!!
ザッ
父上っ!!

しゅた
父上 ご報告しますっ 私はあみたんと結婚──
キリリッ

パパじゃなぁい♡ ヤダーっ♡
妹でーす
パ パパって?? い 一体っ!?

そ そう言やぁ 会長の愛人って 瑞江あみ──
ガッ
ブル
なーっ!! オ オレヤってないっスっ!! っスよねっ!!

おめえら オレの あみたんに…
ビキッ
ビキッ
あみたんに 何しやがった……

チチ・・

昨夜未明
暴力団の内部抗争
により全員重傷
周辺は一時騒然と
なりました――

姉貴っ！
昨日のヤクザの
家じゃんっ

へー

もう あのパパ飽きたし
キモブタもウザかったしぃ♡
また新しいパパ
見つけるの♡

うふ♡

その時
私は悟った――

あっ
悪魔や
……

ゾゾ…

ボタッ

全ては姉貴の
シナリオ通り
だった事を
―
アイドルは非道
だ……

『びっちパイ』完

初出

『仮面の淫夢』（『OLピンキーライフ』を改題）
ビザッツスペシャル 2014年11月号～2016年2月号（3カ月に1回掲載）

『びっちパイ』
アクションピザッツ 2016年5月号～2016年11月号（3カ月に1回掲載）

お買い上げ誠にありがとうございます！

成人向単行本は約2年ぶり、エンジェル出版様からの
発行は初となります。
『仮面の淫華』は連載時のタイトルは
『OLピンキーライフ』というタイトルでしたが、
本編がシリアス方向に向ってしまった為、
相談した結果タイトル変更しての
発売となりました。
当初は、変身したOLがヤリまくる話を
考えていましたが、気がついたらキャラが
そっち方向へ進んでおりました^^
こうなったらピンク映画のようなものに
しようと思いました。正直もう少し
人物を明確にしたかったですが、
これはこれで良しと…
『びっちパイ』は真逆のおバカを
目指して描きました。
こちらの作品の方が楽しく描けた
気がします。

最後に、この本に関わってくださった皆様、
未だに単行本を出させていただける喜びを
感じております。
本当にありがとうございました！

エンジェルコミックス

仮面(かめん)の淫夢(いんむ)

平成28年12月17日　第1刷発行

著者©◉たべ・こーじ
発行者◉梓沢雅治
印刷所◉凸版印刷株式会社
発行所◉株式会社エンジェル出版
〒162-0813　東京都新宿区東五軒町3-28
[営業]03-5261-4860
[編集]03-5261-4846

装幀◉古谷昌博（神楽坂マガジン社）
装画◉たべ・こーじ

落丁・乱丁の場合は本社にてお取り替えいたします。
●定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-87306-740-7 C9979

◆この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありま